

女性農業者の情報発信とネットワークづくりの推進

県内の女性農業者の情報発信と交流促進を目的に、取組事例の紹介や意見交換会を継続的に実施し、連携強化と地域農業の課題解決につなげる。

○ 施策分類

女性、担い手、地域計画、みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

女性農業者から、地域で頑張っている女性農業者同士でつながりたいとの要望があった。

まずは県内で活躍している女性農業者の情報発信のため、HPで取組事例を紹介するとともに、より身近につながりが持てるようネットワーク作りや課題解決に向けた意見交換会「女性のための農業トーク&カフェ」を令和4年度から継続して実施。

○ 取組の内容

令和7年12月、5名の女性農業者に参加いただき、「あなたと地域の10年後について一緒に想いを語り合いませんか？」をテーマに、自身や地域農業の10年後の見通しのほか、最近の気候変動による影響や労働力確保の難しさ、女性の働き方など日頃から抱えている課題や想いについて幅広く意見交換を行った。

○ 効果・成果、今後の方向性

参加者からは「いろんな話が聞けて参考になった、交流の機会を増やしてほしい」との声が寄せられ、取組継続の必要性を感じた。引き続き交流促進や取組事例の紹介を進めるとともに、既存のつながりを広げネットワークの構築を図り、交流をさらに深めることにより、女性農業者の一層の活躍につなげていきたい。



トーク&カフェの様子

摘んで、作って、味わう。新しい形のいちご農園を楽しんでほしい！
川崎 穂々ム (令和7年11月)
南越前町 (株式会社HINONOMI)

プロフィール

- 令和6年1月にオープンした観光農園施設「FRUITFUL GARDEN Dの」の運営。いちごの体験農園を主として運営。
- 現在はハウス4棟で、7種類のいちごを栽培。また、いちごの収穫後は、粒豆やすまいるも栽培するほか、実家がある大野市でも、水稲・上庄さくもを栽培。
- 体験農園に併設しているキッチンカーでは、いちごを使用したソフトクリームやパフェ、ジャム等を販売。

私から見た「農業の魅力」とは

- 作物に愛情を注ぎ、丁寧に育てただけその成果がしっかりと形となって出てくるので、自分の工夫や努力次第で自由に取組むことができるのが農業の魅力の一つです。

ちょっと一言

- 積み取ったいちごは、そのまま食べるだけでなく、パフェやケーキ等のオリジナルスイーツ作りを楽しむことができます。
- 全ての人が作物を育てることが当たり前になる未来を願っています。その第一歩として、体験農園を通じて農業に触れるきっかけを提供していきたいです。

農業に関心のある皆さんへ

- まずは家族会議など、身近なところから始めてみてください。一度作物を育てる体験をすることで、さらに魅力を感じることがあります。どんなに気軽に挑戦できますので、ぜひ一歩を踏み出してみてください！

取組事例

体制図

